

関係各位

## 重 要

### コロナウイルス感染対策に伴うご連絡(改訂)

各位におかれましては、このコロナ禍にあってもご活躍のことと存じます。

日頃より技能実習評価試験の実施に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの猛威は未だ収まっておりません。

協会に於いても主務関係機関と足並みを揃えて出来得る限りの対策に尽力しております。

そのため、より一層の安全対策としまして試験会場へ来場される受検者、引率者ならびに通訳の皆さまに、当日試験会場の前にて抗原検査の実施をお願いしています。

評価試験を受検される前にお配りします抗原検査キットで、評価試験の当日の仮受付時に、試験スタッフの指示の下で検査を実施することとしております。

検査結果の判明まで 10 分程度かかります。

この結果が陰性であった方のみ試験会場の受付へ質問状と共に検査キット本体を提出頂いた上、本受付をさせて頂くこととしております。

検査結果が陽性であった場合または、ご提出頂けない場合は感染予防の観点から受検をご辞退頂くこととなります。

お手数をおかけ致しますがよろしくお願い申し上げます。

**\* 事前連絡の無い方の抗原検査キットはご用意いたしておりません。**

**\* 10 月から抗原検査キットは変異株に対応する改善が成されています。**

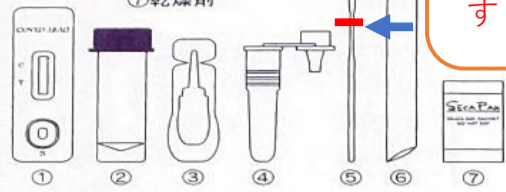
また、同封致しました改訂された抗原検査手順を良く読んで頂き、仮受付の時刻までに試験会場にお越し下さい。

# 抗原検査手順

改訂

1

- ①検査カード
- ②唾液採取容器
- ③検査液
- ④滴下チューブ
- ⑤検体採取用スワブ
- ⑥ストロー
- ⑦乾燥剤



キットが全て揃っているか確認する。  
※開封後は1時間以内で使用してください。

⑦乾燥剤は検査に使用しません。破棄してください。

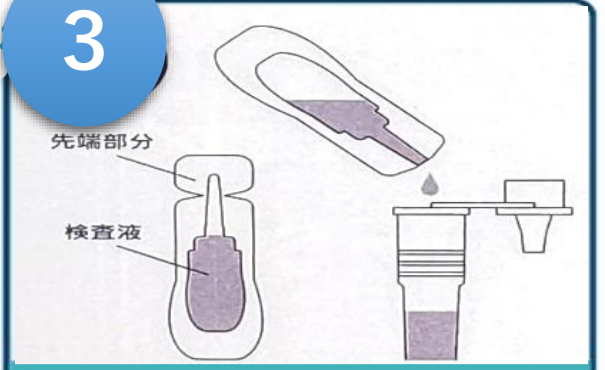
この辺りに折れ目があります

2



唾液採取容器に専用ストローで唾液を流し込んでください。真ん中の線(3ml)まで唾液が溜まったら、検体採取用スワブを浸して1分程かき混ぜる様に染み込ませてください。

3



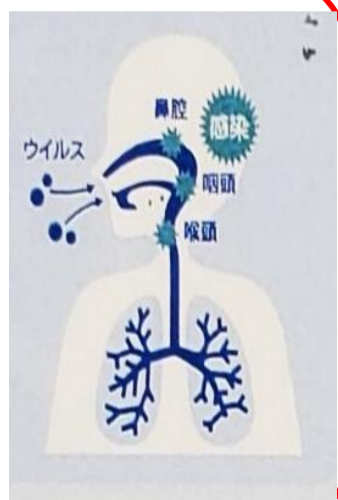
検査液の先端部分をねじって取り外し、中にある検査液を全てチューブの中に丁寧に入れます。

## 倒さないように注意!

つばを吐くのではなく唾液(だえき)を入れる。綿棒によく浸透するようにかき混ぜて下さい。

※ウイルスは喉の奥に付着しているため、唾液は喉の奥から絞り出すように意識して採取して下さい。

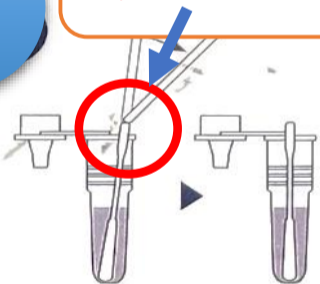
※痰を出すように「カーペツ」と唾液を出すようなイメージ



滴下チューブは自立できません。テーブルの上など水平な場所に置くときはキャップをしっかり締めてください。

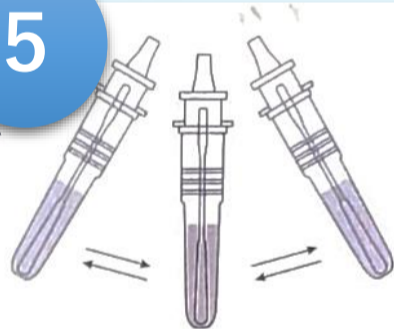
4

折れ目で折ってください



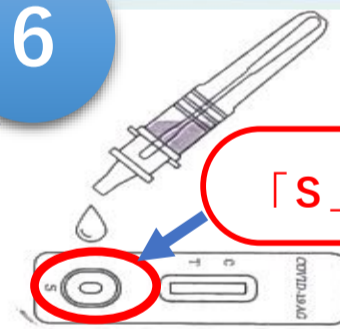
唾液に浸したスワブを、今度は検査液に浸しながらかき混ぜます。1分程かき混ぜた後、くびれ部分を前後に曲げて折り入れ、検査液の中に沈めてください。

5



滴下チューブのキャップをしっかり締めて数回振り、スワブと検査液を馴染ませて1分程度待ちます。

6



「S」

滴下チューブの先端から、「S」部分に3~4滴ほど滴下してください。

7



滴下後、10分程度で結果が確認できます「C」のラインが出ない場合は無効です。別のキットにて再検査してください。

## 倒さないように注意!

棒に折れ目があります。

②の綿棒を抜くときに折れ目まで引き出してから折って下さい。

フタをしてよく振ってください。

スポイトを押すように1滴ずつ落とします。「S」部分に浸透したら2滴、3滴と続けて入れてください。

Tのラインが出てCのラインが出なかったら事務局まで申し出て下さい。

(全体の検査時間は10分ほど要します)